

5. 館地区

(1) 館地区の概況

東武東上線柳瀬川駅の西側に位置し、民間の大規模開発による志木ニュータウンが立地しており、本市で最も人口密度の高い地区です。志木ニュータウンと一体となって、小中学校、市民体育館、図書館などが立地しています。

また、地区の北側には柳瀬川が流れており、土手の桜並木などの自然とふれあうこともできます。



(2) 館地区の人口動向

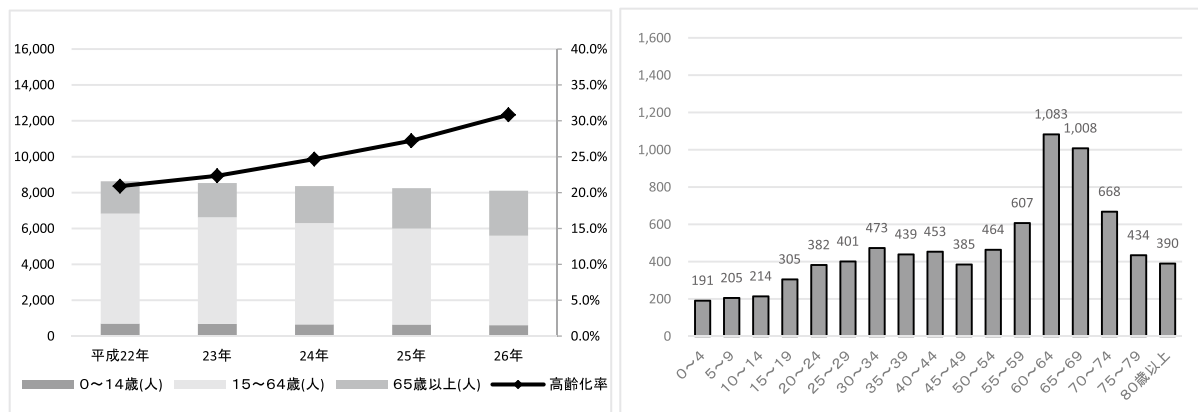
近年の人口は、平成22年の8,630人から平成26年の8,102人と減少傾向となっています。高齢化率は、他地区と比較して最も高く、平成26年で30.9%となっています。

年齢別の人口構成では、他地区に比べ60歳以上の割合が高くなっています。

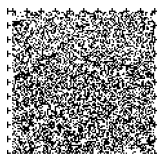
■年齢3区分別人口及び高齢化の推移

	平成22年	23年	24年	25年	26年
総数(人)	8,630	8,532	8,363	8,245	8,102
0～14歳(人)	700	679	652	648	610
15～64歳(人)	6,126	5,947	5,648	5,352	4,992
65歳以上(人)	1,804	1,906	2,063	2,245	2,500
高齢化率	20.9%	22.3%	24.7%	27.2%	30.9%

■年齢3区分別人口及び高齢化の推移（グラフ） ■平成26年の5歳階級別人口（グラフ）



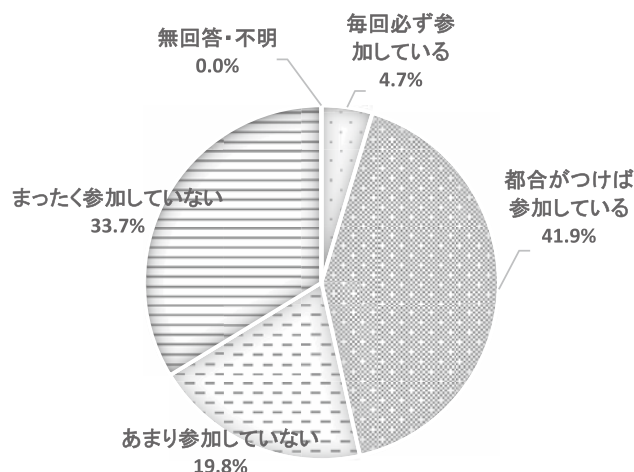
出典：埼玉県町（丁）字別人口調査各年1月1日現在



(3) 館地区の市民意識

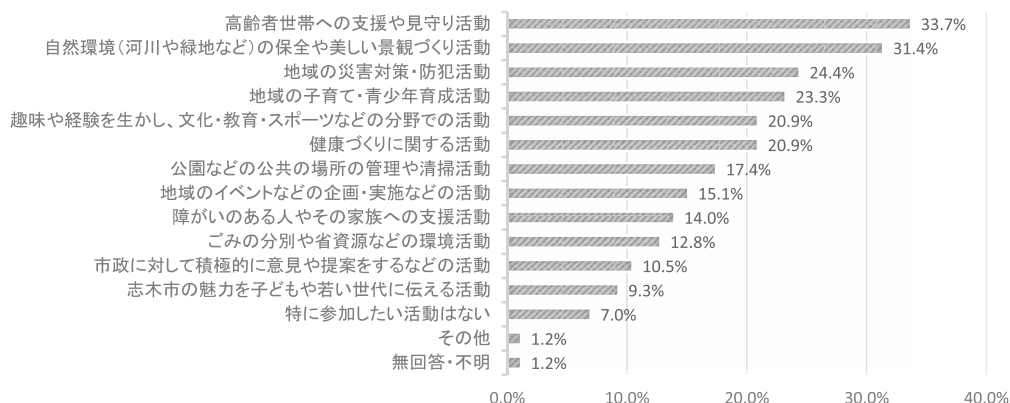
- 地域活動へは「都合がつけば参加している」が41.9%と最も高く、他の地区と比較しても参加意識が高い地区といえます。
- 市民力を生かしたい活動の内容は、「高齢者世帯への支援や見守り活動」が33.7%と最も高く、高齢化率が最も高い地区において、市民も高齢者支援に対する関心が高いことが特徴的です。

■地域活動への参加



(N=86)

■市民力を生かしたい活動



(N=86)

※市民意識調査(調査項目の中から、「市民力」に関連する項目)を抜粋

(4) 地区まちづくり会議からの主な意見

① 問題点・課題

- ・「少子高齢化・人口減少」については、地域の高齢化や高齢者支援・子育て支援対策の必要性があがっており、「施設・設備」については、マンションや団地の老朽化やバリアフリー化の不備に関してあがっています。
- ・「商店街の衰退」や他の地域とのつながりの希薄化等の「孤立」に関してあがっています。
- ・事故の多さや交通量の多さ等の「交通」に関する点や「防災」に関する課題があがっています。

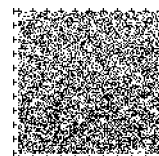
② 優れている点・強み

- ・公共施設の充実等といった「住環境」の良さや、柳瀬川沿いの緑等といった「みどり豊かな環境」があがっています。
- ・「教育環境」、商店や公共施設への「利便性」、「コミュニティ」が強みとしてあがっています。

③ 地区で主体的に取り組んでいるまちづくり活動

- ・「防犯・防災」に関する活動として、防犯パトロール等の実施、「福祉」に関する活動として、高齢者の交流促進に向けた昼食会の実施等に取り組まれています。

※地区まちづくり会議の意見から、多かった意見や地区を特徴づける意見を抽出



（５）館地区の課題

地区の現状を踏まえ、特に地区で解決すべき重点的な課題として、「地区の活性化」「コミュニティ」「住環境」の３つの視点で課題を整理します。

【地区の活性化に関する課題】

- 地区の大部分を占める志木ニュータウンは、広域交通の利便性や生活関連施設は充実しているものの、建物や設備の老朽化、著しい高齢化の進行、商店街の衰退などにより活力の低下が懸念されています。

【コミュニティに関する課題】

- 長年にわたって良好なコミュニティが形成されてきましたが、人口減少と高齢化の進行（特に単身高齢世帯の増加）によりコミュニティ活動の制約がみられます。

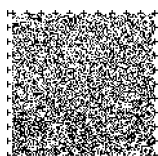
【住環境に関する課題】

- 住民の高齢化に伴うバリアフリーの必要性や、建物の老朽化に伴う大規模地震などに対する不安が増大しています。
- 一定の買い物環境は維持されていますが、商店街の衰退が目立つことによりイメージの低下が懸念されています。

（６）館地区のまちづくり方針

以下の方針に基づき、具体的施策に取り組みます。各地区のまちづくりの方針、具体的施策を推進することで、将来構想に掲げる市の将来像の実現を目指します。

方針 1	高齢者が住み続けられるように、生活サポートの充実とともに住宅改善の支援を行います。
【具体的施策】	【取組内容】
高齢者福祉の充実	高齢者及び要介護者等が自立した生活を継続できるよう、本人や家族を支援するため、市独自の事業を実施し、利用の周知とともに、支援情報、保健・福祉及び関係機関の連絡体制を強化します。
住宅施策の推進	子どもから高齢者、あらゆる世帯の誰もが安全・安心で快適に暮らすことができるよう住環境を取り巻くさまざまな課題を整理し、良好な住まい・住環境の形成を目指します。
まちの防災機能の向上	大規模地震発生時の住宅の安全確保のため、耐震性に不安のある共同住宅の耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進します。



方針 2	道路・公園や公共公益施設が整備されている良好な環境を生かして子育て世代の新たな定住促進施策を検討し、コミュニティの活性化とともにニュータウンの再生を目指します。
-------------	---

【具体的施策】	【取組内容】
子育て家庭への支援	出産や育児に伴う経済的、精神的な不安を軽減し、在宅の子育て家庭を含めたすべての子育て家庭が、安心して楽しく子育てができるよう、ライフステージにあわせた支援を行います。
地域と連携した子育て支援	地域ぐるみで子育てができるよう、地域の活動団体等との協働の取組や交流を促進し、子どもにとってよりよい子育て環境の整備に努めます。
地域コミュニティの活性化	町内会をはじめとする地域のコミュニティ団体の育成や活動の支援を通じて、市民のコミュニティ意識の高揚と地域コミュニティの活性化を促進し、豊かな地域社会づくりを推進します。

方針 3	買い物環境の充実やにぎわいの創出を目指し、身近な買い物空間であり市民が集う場である商店街の活性化を図ります。
-------------	---

【具体的施策】	【取組内容】
活気ある商工業の振興	商工会との連携を強化し、創意工夫を凝らした魅力ある地域活性化事業や、地元商店会の育成を支援します。 また、空き店舗の増加による商業機能低下を防ぐため、市内の空き店舗情報を一元管理し、新たに起業する事業主に対して情報提供と創業支援をすることで、地域経済に元気と活気を創出します。

方針 4	桜並木など柳瀬川の自然を保全し、身近に自然とふれあえる良好な環境の維持を図ります。
-------------	--

【具体的施策】	【取組内容】
みどり豊かな暮らし	季節を感じ、自然にふれあえる憩いの場を確保するため、志木市緑の基本計画に基づき、将来にわたり市内に残された数少ない緑地の保全に努めます。また、保存樹木の指定による管理費の一部補助や生け垣の設置に対する補助を行い、都市緑化を促進するとともに、市民、市民団体、事業者及び行政による緑化活動を推進します。

